

食品安全・ビル管理・住環境のことなら



エコア株式会社

ECORE official newsletter
IKIILIFE 2026 Winter.
<https://www.ecore.jp>

ホームページ内 Facebook もチェック！

Creating a beautiful future

特集

- 2026 年感染症対策
- 食品安全最新動向【JFS-A/B/C】
- 第30回気候変動枠組条約締約会議（COP30）
- クリーンエネルギー実用に向けて
- サステナブル社会における自然との共存
- おすすめサービス・商品
- 2026 年会長コメント
- エコア調査隊が行く【排水溝清掃】



代表取締役会長 宮澤 公廣
表紙絵画宮澤公廣作・山中湖西側から富士山を忍ぶ

エコアでは総合衛生環境管理に於いて安心安全な環境とサステナブルに向けた運営をスムーズに構築し、皆様の明るい未来に向け最善を尽くしてまいります。

● 2025年11月11日から21日迄ブラジル・ベレンにて行われたCOP30（国連気候変動枠組条約第30回締約国会議）では約200か国が参加し、気候変動対策の実施に向けた目標設定に注目が集まりました。COP30において先進国が初めて法的拘束力のある排出削減目標を導入した京都議定書、COP21で採択されたパリ協定など、気候変動対策において重要となった議会です。パリ協定の産業革命前の水準から5℃抑制の取り組みを各国が約束しましたが上昇予測も大きく自然エネルギーへの変換は未来の社会にとって欠く事が出来なくなりました。

● 昨年末から猛威を振るっているのはインフルエンザ変異株「サブクレードK」です。南半球で出現し、イギリスなどで流行して、2025年年末頃国内検出株の約96%を占めていました。感染拡大スピードは速いので密集地等では感染対策が必要です。

● 2025年日本国際博覧会「大阪・関西万博」は四月十三日から十月十三日迄184日間大阪の夢洲（ゆめしま）で行われました。世界各国パビリオンや「命の」未来の」等の多くのパビリオンが地球の未来、次世代に向けた展示や映像、イベントを行っていました。未来の医療や開発、地域土地開発等をITやAIを駆使しながら発信し、今後の世界構築していくことが期待されます。

● 「もったいない」という日本の習慣は江戸時代文化の大量生産が乏しい中、物を大切にすることを心から生まれました。ノーベル平和賞受賞者ワンガリ・マタイ氏はリデュース（削減）リユース（再利用）リサイクル（再資源化）という環境活動をたった一言で表せるだけでなく、かけがえのない地球資源に対するリスベクト（尊敬の念）が込められている日本の言葉だと世界に広めました。江戸時代前の1578年から行われている東京都指定無形民俗文化財に認定されている世田谷ポロ市は骨董品や古着等の市場として知られています。中古もビンテージ、アンティークという価値ある物として大切に使う事は資源を有限と考えるサステナブル時代と感ぜられます。

● 令和八年丙午（ひのえうま）となりました。丙午は前向き、エネルギー、繁栄、スピードなど活力ある象徴として多くのことわざにも登場します。この年が皆様にとって明るく元気になる一年であってくださる事を期待します。

謹んで新春の祝辞を申し上げます。旧年中は格別なご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

謹賀新年

2026年感染症対策

インフル変異株サブグレードK

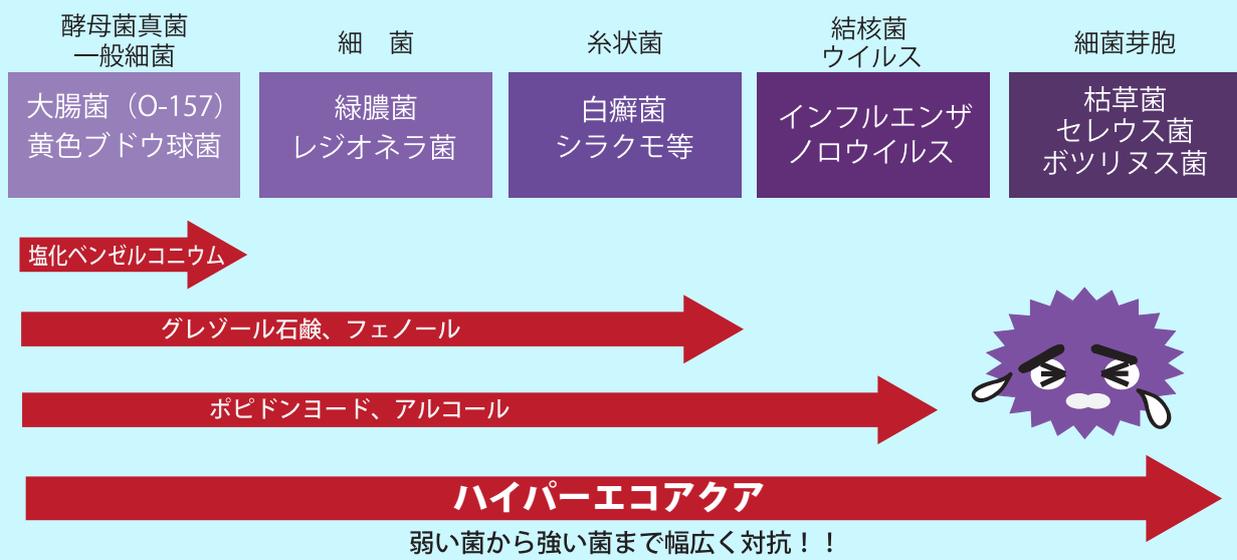
2025年～2026年にかけてのインフルエンザは例年と比較してかなり早い時期から流行しはじめました。異例の流行拡大の原因として注目されているのが、インフルエンザA型の変異株である「サブグレードK(J.2.4.1)」は、インフルエンザA型(H3N2)の変異株です。南半球(オーストラリアなど)でのシーズン終盤から増え始め、その後ヨーロッパ・日本を含む北半球に広がり、例年より早いタイミングで流行が始まっています。国内において厚労省などの解析では、今シーズン日本で検出されたH3N2ウイルスのうち、約9割以上がサブグレードKに属していたと報告されています。症状としては従来のインフルエンザと同じように発熱、咳・のどの痛み、鼻水・鼻づまり、全身倦怠感・頭痛等が挙げられますが、従来のインフルエンザより比較的軽症で、他の風邪と似ている為、気づきにくいところがあります。他の感染症と同様に、高齢者、乳幼児・基礎疾患のある小児、心疾患・呼吸器疾患・腎疾患・糖尿病などの持病をお持ちの方、妊娠中の方、免疫抑制状態にある方等は重症化リスクもあります。

感染症に関しては、2020年～3年間のコロナ禍において感染症の知識を身に付け向き合った経験がある為、多くの方は感染対策の為の対策方法を熟知していますが、比較的軽度な感染であっても手洗い、うがい、マスク着用、除菌の習慣を思い出して、実践していくことが必要です。

ハイパーエコアクア【除菌剤】

インフルエンザ、コロナ、ノロウイルス効果あり

代表的な除菌剤とハイパーエコアクアの除菌スペクトルの比較



ハイパーエコアクア Hyper Ecoaqua

菌・ウイルス・悪臭対策に

ウイルスも!菌にも!

ハイパーエコアクアは次亜塩素酸(HClO)次亜塩素酸イオン(OCl⁻)塩化ナトリウム(NaCl)を成分としたpH調整済み次亜塩素酸水溶液です。

- 幅広いスペクトルで様々な菌からウイルス迄効果あり。
- pH調整済なので取り扱いが安心安全
- 消臭効果あり、消臭、除菌を同時に行えます。
- ・20ℓ・10ℓ (大容量ポリバック)
- ・500mℓ・400mℓ (スプレータイプ)



ハイパーエコアクア用超音波噴霧器

FOGX Sanitizer



ウイルスや菌対策でクリニック、病院、介護施設や保育園でも使用されている業務用超音波噴霧器です。

■仕様

- ・外形寸法:約 260x 178 x415 mm
- ・重量:約 1814 g
- ・動作電圧:AC 100V-120V 50/60Hz
- ・消費電力:15W~25W
- ・容量: 6.0ℓ
- ・加湿量:最低 60ml/h~最大 300ml/h
- ・連続加湿:約 20~60 時間
- ・適用床面積: 14.5~24畳

バイオメディカルサイエンス研究所にてコロナウイルスに対する有効性が実証されています。詳しくはHPで掲載 <https://www.ecoeshop.com/view/item/014000000025>

食品安全最新動向【JFS-A/B/BPlus/C】

食品製造事業者を対象としたJFS規格にはJFS-A規格、JFS-B規格、JFS-BPlus規格、JFS-C規格があります。各規格では求められている要求事項において要求内容や項目数の違いがあります。業態の規模を問わず幅広い事業者にとって取組安く、段階的に食品安全管理レベルを向上させることができます。東京都において、昨年終了した東京都食品衛生自主管理認証制度（HACCP制度化となり終了）のように、段階を追って少しずつレベルUPしていくことも可能です。エコアは監査員・コンサルティングによりJFS規格サポート・監査・監査員研修を行っております。

規格取得で企業の信頼を！



JFS規格のお問合せは エコア株式会社 食品安全事業部へ  0120-03-0066

新書物

「FSSC2200version6規格解釈へのポイント」

2024年の4月より大きな変更を受けたFSSC2200version6が適用開始されました。「FSSC2200規格解釈のポイント」「対訳 第三版 FSSC2200」「ISO2200認証取得宣言」等の食品安全規格の解釈や取得ポイント等の書籍を手がけてきたエコア株式会社代表取締役社長であり、高知県立大学客員教授(2019-)東京海洋大学大学院FSMS論非常勤講師(2010-2015)やASEAN各地の国立大学で講師も行ってきた食品安全における第一人者でもある宮澤公栄、そして第三者認証機関オーデイス株式会社最高審査責任者齋藤恵美との共著です。一般社団法人国際環境衛生協議会GOESより出版・販売されています。

購入はこちら→<https://ecoshop.com>
<https://goes-fs.org>



絶賛好評発売中

お見積り・お問い合わせ



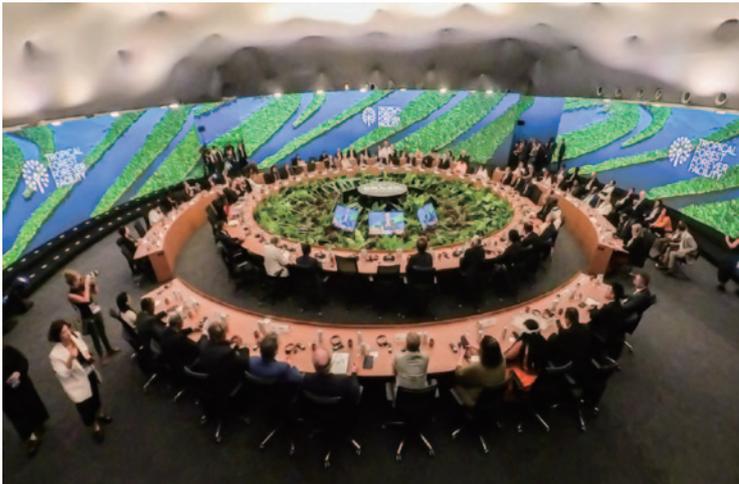
0120-989-587



未来の環境構築 第30回気候変動枠組条約締約国会議

ブラジル連邦共和国・ベレンにて、2025年11月10日から同年11月22日(1日延長)にかけて開催されました。国連気候変動枠組条約第30回締約国会議(COP30)、京都議定書第20回締約国会合(CMP20)、パリ協定第7回締約国会合(CMA7)の会議には日本から環境大臣を筆頭に、外務省、環境省、経済産業省、財務省、金融庁、文部科学省、農林水産省、林野庁、国土交通省、気象庁、厚生労働省及び関係機関が参加しました。

「ベレン健康行動計画」の迅速な行動を要請



出典：COP30議長国公式WEBサイトより

開催国であるブラジル連邦共和国ベレンは人口150万人。アマゾン川の河口南岸に位置します。年間を通じ最高気温は30~32℃、湿度は80~90%前後という高温多湿の熱帯雨林気候になります。開催地がアマゾン地域であることから、首脳級会議や主要イベントでは、気候変動への適応策における先住民コミュニティのリーダーシップと、ローカルな伝統的知識の活用が主要な論点として例年以上に活発に議論されました。

地球の気温は産業革命前比で1.5℃を超え、世界は既に深刻化する健康被害を経験しています。報告書によれば、33~36億人が気候変動の影響を強く受ける地域に居住しており、病院は1990年と比較して異常気象による被害リスクが41%高まっています。

世界保健機関(WHO)、ブラジル政府(COP30議長国)、ブラジル保健省が共同で発表した「COP30健康と気候変動に関する特別報告書」によると気候変動はすでに世界的な健康危機を引き起こしており、毎年54万人以上が猛暑によって命を落とし、世界中の病院の12分の1が気候変動に関連する閉鎖のリスクに直面していると、警告しています。

熱帯林は気象パターンに影響を与え、食料と水の安全保障を確保し、きれいな空気を提供します。熱帯林の急速な減少は、気候変動の転換点に私たちを近づけ、生物多様性、水の安全保障、そして何百万もの人々の生活基盤を脅かしています。しかしながら、歴史的に森林への資金提供は、主にプロジェクトベースで、短期的かつ不十分なものでした。さらに、こうした資金は、保全の最前線に立つ森林管理人に十分に届いていません。熱帯林フォーエバー・ファシリティ(TFFF)は新たな前進、パラダイムシフトを提示しています。つまり、慈善団体、公的資金、民間資金を動員し、これらの資金を多様な投資ポートフォリオに再投資することで運営します。TFFFによって得られる収益は、熱帯林諸国に対し、保全または再生された森林1ヘクタールあたり一定額の報酬として支払われる一方で、TFFFの資本基盤を維持し、施設の長期的な持続可能性を確保します。TFFFは、投資収益を用いて熱帯林が提供する地球規模の公共サービスを評価し、その保全に取り組む各国に報奨を与える恒久的な国際機関を構築しました。



革新的な資金調達メカニズムを通じて熱帯林の未来を確保することを目指す取組として「tropical forest forever Facility」略：TFFFが立ち上げられました。この熱帯林の長期的な保全を目的とした新たな資金メカニズム気候変動適応の観点からも極めて重要です。洪水や土砂災害の防止、水源の涵養といった多大な恩恵を通じて、周辺コミュニティの気候変動に対するレジリエンスを強化する、自然を基盤とした適応策(NbS)として機能します。TFFFが長期にわたり安定した資金を供給することで、この重要な「緑のインフラ」の維持に貢献することが期待されています。

エコアe-Shopでは微生物専門家のオリジナル商品を取り揃えております。皆さまの安心、安全をスピーディにご対応させていただきます。

除菌剤から防虫機器まで幅広い業務用商品を取り扱っております。

エコアe-Shop



www.ecoeshop.com



Clean Energy

クリーンエネルギー 実用に向けて



日本では、従来の2030年度目標に加え、2025年2月に、世界全体での1.5℃目標と整合的で、2050年ネット・ゼロの実現に向けた直線的な経路にある野心的な目標として、2035年度、2040年度において、温室効果ガスを2013年度からそれぞれ60%、73%削減することを目指す、新たな削減目標を掲げました。国内で年間10億トン（2023年度排出・吸収量実績）を超える温室効果ガスを排出しており、2050年までに、これを実質ゼロにする必要があります。

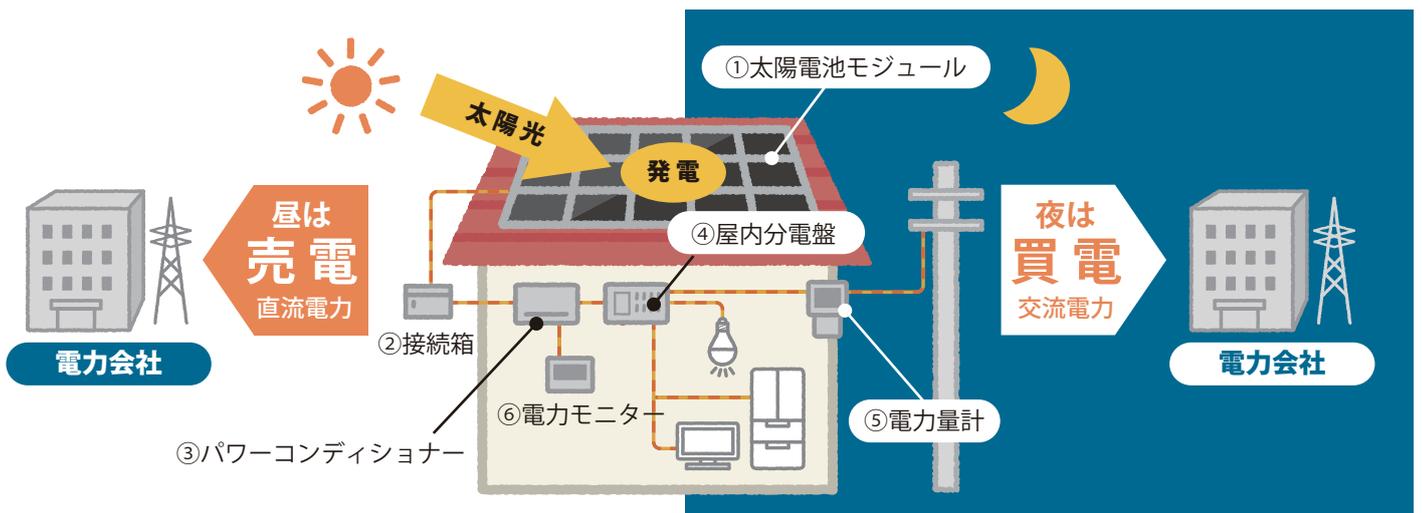
環境省ではターゲットである2030年頃までの約10年間に行われる選択や実施する対策を取る環境基本計画策定（第6次）を行い「環境保全」を通じた、「現在及び将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、ウェルビーイング、経済厚生の上昇」、「人類の福祉への貢献」の実現を目的とし環境収容力を守り環境の質を上げることによって成長・発展できる「循環共生型社会」を目指しています。

大幅なCO2削減をするためには、CO2排出量の少ないエネルギーへの転換が必要となります。現在太陽光発電・蓄電池への変換、風力発電や水素エネルギーの利用等、2030年46%削減を受けて脱炭素社会が具体的に実現していかなければなりません。実際、一時は停滞していた太陽光発電に普及も、国からの大幅な助成金により増加してきています。特に近年、日本国内における大震災等の発生確立の増加により、一般家庭での震災の備えとして太陽光発電・蓄電池への切り替えも進んでいます。

6つの重点戦略

- ① 「新たな成長」を導く持続可能な生産と消費を実現するグリーンな経済システムの構築
- ② 自然資本を基盤とした国土のストックとしての価値の向上
- ③ 環境・経済・社会の統合的向上の実践・実装の場としての地域づくり
- ④ 「ウェルビーイング／高い生活の質」を実感できる安全・安心、かつ、健康で心豊かな暮らしの実現
- ⑤ 「新たな成長」を支える科学技術・イノベーションの開発・実証と社会実装
- ⑥ 環境を軸とした戦略的な国際協調の推進による国益と人類の福祉への貢献

一般家庭における太陽光発電 & 蓄電池の仕組み



エコアは
お客様の環境に合わせた
サポートを行ないます。

お見積り・お問い合わせ

 0120-989-587



お問い合わせ
メールフォーム



サステナブル社会における自然との共存 豊かな山の環境を取り戻す



2025年の熊被害は近年まれに見るほどの社会的影響が大きく、マスコミでも大きく取り上げられました。全国各地での熊被害の増加の原因として①クマの分布拡大と生息数の増加、②人慣れして人を恐れないクマの出現③ブナ科堅果類の不作による餌不足が主な要因だと思われます。又、クマは猟師や猟犬に追われることもなく、人が怖い存在と学習する機会がなくなった事も被害が増加している原因です。更に、被害により母熊が駆除された為、子熊が人里近くで育ち、人を恐れないクマが増えています。

出没件数と人身被害件数ならびに捕獲件数は高い相関があるため、人身被害増加の主要因には、分布拡大と生息数増加が想定されます。具体的な対策にあたっては、ツキノワグマとヒグマのそれぞれの特性を踏まえた、地域ごとの分析が重要です。短期的には、人々の生活の安全確保を最優先とし、人身被害を及ぼす可能性のある、人間活動域内に生息するクマを捕獲し、リスクを低減することが必要です。また、クマの人馴れを防ぎ、クマと人が互いに恐れ合う緊張関係の構築が重要です。中期的には、地域ごとの科学的な個体数推定

に基づき、ブナ科堅果類の不作年にも大量出没を発生させない適正規模での個体数管理と、人とクマのすみ分け(ゾーニング)を実現する必要があります。そのためには、地域ごとに、自然科学の専門知識と捕獲技術を持つ人材と組織体制を構築し、科学的なデータに基づいた対策検討が求められます。地域ごとの中期的な対策においては、単にクマ対策にとどまらず、生態系管理をつうじて地域課題を解決する「自然を活用した解決策(NbS:Nature-based Solutions)」の視点や、地域の生物多様性を回復させる「ネイチャーポジティブ(自然再興)」の視点で、統合的な施策にすることが効果的です。例えば、人とクマとの緩衝地帯をつくることは、林業振興や、里地里山の生物多様性の回復と親和性があります。また、クマを奥山にとどめるためには、奥山の放置された人工林を自然林へ転換して生息地を回復させることが有効です。さらに、これらの取り組みを、教育活動や都市との関係人口拡大の機会にすることもできます。そして、クマを恐れ、敬い、獲った命は無駄にしないことが大切です。

参照:公益財団法人 日本自然保護協会



市町村・集落レベルでのゾーニングのイメージ

2026年 冬

おすすめ サービス・商品

新たな時代に向けた安心安全の為の商品、製品、施工のご案内です。まずは、生活環境から見直しませんか？



清掃

個人住宅からビル清掃まで様々な建物の清掃承ります。

ビル・ホテル

- 定期清掃
- 日常清掃
- 客室清掃
- エアコン清掃

個人住宅

- キッチン回り
- 風呂・トイレ
- ガスレンジ
- 廃棄物処理

感染症対策・除菌

ハイパーエコアクア/sanitizerFOGX



エコアのハイパーエコアクアは、クリニック、病院、介護施設や保育園でも使用されている業務用除菌剤です。ハイパーエコアクア専用超音波噴霧器のsanitizerFOGXを併用することで、ウイルスからしっかりガード出来ます。

光触媒長期抗菌コーティング施工

光触媒資材は、化学反応において光を照射することにより触媒作用を示す物質を利用した資材で、光が当たるたびに抗菌効果を発揮する資材です。汚れ、細菌やウイルス、においの元を分解し、塗布した資材を守ります。



PFAS対策施工

社会的に注目されているPFASは人体への影響等も出ている可能性があるとの事。エコアではPFAS対策施工を行っております。PFAS対策としてエコアが行なっているのは主に逆浸透膜浄水装置で、おおよそ95%以上の除去が確認されています。調査・設置施工等はお気軽にご相談下さい。給排水施工においては貯水槽工事、排水ポンプ設置、井戸給排水設置工事など大規模なものから、水もれや詰まりなど日常の水道トラブルまで、総合的なご相談も承っております。



お見積り・お問い合わせ



0120-989-587



2026年 エコア株式会社 会長コメント

21世紀が始まった2001年。科学技術進化をさせ、ゲノムの解明や生物化学の飛躍が期待されていました。100年の歴史の中でも70年間、戦後の中で程々豊かになったと言って良いでしょう。

2020年から感染症コロナウイルス（COVID19）が世界に流行して感染拡大がパンデミックとなり3年間政治、経済は途絶え、世界各国の死亡者が増加の中、GDPも下落しました。企業や学校教育はZOOMで補い、気が付くとオンラインが急激に普及し、ITやSNSも更に進化を進めることとなりました。面談、会合、研修、授業等のオンラインの使用は現在当たり前で使用され、異動や出張で費用がかからないスムーズな社会になってきました。

残念な事はロシア侵攻によるウクライナ戦争や、宗教戦争とも言えるかもしれま

せんが、イラクとハマスの戦い等、とても残念で今日も終わりが見えない状況です。

しかし、世の中全体を見れば、時代は前進しています。2025年の大阪万博では何を示唆しているのか…。

命、未来、環境、これらのワードが多くのパビリオンで表現されていました。COP30も気象変動への取組が前進したと言ってよいでしょう。**今戦わなければいけないのは国と国ではなく気候変動である**との内容を宣言していましたが、正にその通りだと感じました。

昨年は二科展東京支部展やたぶろう展等で自然環境を主軸とした作品を出展致しました。又、本年もエコソング新曲を2曲リリース致します。

本年もどうぞ宜しくお願い致します。



2025年二科展東京支部展
入選作品と宮澤会長

衛生管理のことならエコアにお任せ下さい。

エコア調査隊が行く！



排水溝清掃

食品衛生環境において、排水の衛生管理はととても重要です。特に清掃を怠った場合、臭いや異物混入の恐れだけでなく、内部で発生するチョウバエやノミバエ、臭いに寄ってくるゴキブリ等の害虫の発生原因につながります。毎日の清掃、お手入れ以外にも、定期的に汚れをしっかりと落とす高圧洗浄やバキューム等を行う事で臭いも無くなり、害虫被害も大幅に軽減されます。今回はレストランA様厨房のご依頼でエコア調査隊が伺いました。厨房では日々の清掃は行き届き、衛生環境が整っていましたが、こびりついた油やその上から付着するゴミ等でぬめりがある状態でした。排水溝、グリストラップ引抜きを行い、臭いと汚れを除去しました。

定期的な衛生管理で危害要因のない製造環境を構築する事が大切です。

お問合せはフリーダイヤル0120-989-587

いきいきライフ編集・発行 情報センター 部長：矢作公代

ハイパーエコア専用除菌機サニタイザーフォッグス

広範囲でしっかり除菌！
コンパクトなのに一度の給水で一日しっかり噴霧！！
タンクは6Lと大きく最大60時間の連続運転が可能。頻繁に給水しなくても快適にご利用頂けます。



現代・未来の環境を創造する



エコア株式会社

<https://www.ecore.jp>

□本社	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15	TEL042-524-3232
□東京事業所	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15 エコア本社ビル2F	TEL042-524-3232
□山梨事業所	〒400-0053	山梨県甲府市大里町2062	TEL055-241-1755
□松本営業所	〒399-0036	長野県松本市村井町南1-14-8	TEL0263-59-6513
□横浜営業所	〒226-0019	神奈川県横浜市緑区中山1-20-5	TEL045-929-6120
□東海営業所	〒462-0825	愛知県名古屋市中区大曾根1-27-15	TEL052-911-7771
□宮城営業所	〒986-2281	宮城県牡鹿郡女川町石浜字七曲35-4	TEL0225-98-4325
□大阪営業所	〒532-0004	大阪府大阪市淀川区西宮原1-3-20-1F	TEL06-6399-7711
□広島営業所	〒730-0051	広島県広島市中区大手町1-1-26 大手町一番ビル304	TEL082-569-7695
□九州営業所	〒816-0851	福岡県春日市昇町5-66	TEL092-582-8128
□群馬出張所	〒371-0844	群馬県前橋市古市町1-35-1ラシーネ前橋内	TEL027-255-6546
□食品安全事業部	〒164-0012	東京都中野区本町2-2-13 NKCビルディング9F	TEL03-6276-7030
□環境検査センター	〒164-0012	東京都中野区本町1-16-6 エコア第5ビル1F	TEL03-3320-8480
□情報センター	〒190-0021	東京都立川市羽衣町1-5-15 エコア本社ビル3F	TEL042-524-3232
□千葉営業所	〒272-0025	千葉県市川市大和田2-15-13テラス大和田101号	TEL047-321-4101



0120-989-587